

令和4年度事業報告書

令和4年4月1日から令和5年3月31日

《公益事業活動》

1. 児童青少年育成事業

児童青少年育成事業とは、こども文化劇場の開催など文化活動を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とするものである。

(1) こども文化劇場の開催

こども文化劇場とは、舞鶴では、生の演劇に触れる事が少ないので、優れた演劇を観てもらって、夢と感動を与え、人間の生き方を考える機会とする。

例年通りであれば8月に第28回こども文化劇場を実施する予定であったが、新型コロナウイルスへの対策として中止をした。

(2) 生活文化向上作品展

生活文化向上作品展とは、夢と希望のある作品を制作し、出品できる機会を作り、生活文化の向上に寄与する。小学校の夏期の自由研究の形で提出される科学作品展を、更に発展させるために、努力・アイディアの観点から選出し、多くの人が集まる大型店で展示する。子供達に大きな夢と希望を持って、科学の探求や生活文化の向上に取り組んで欲しい。

例年通りであれば9月に第24回小学校生活文化向上作品展を実施する予定であったが、新型コロナウイルスへの対策として中止をした。令和5年度の開催を目指す。

(3) 文化興隆事業

文化興隆事業とは、日本の良き文化を継承し、発展していくために実施する。

<第23回小学生書初め展>

開催日	令和5年1月14日(土)
場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	80点
出品対象者	舞鶴市立新舞鶴小学校の6年生児童
出品作品募集方法	舞鶴市内の小学校に順番に依頼しており、今年度は舞鶴市立新舞鶴小学校に依頼した
出品作品選定方法	選定するのではなく、学年全体で出品してもらった
テーマ	新年にふさわしい言葉
来場者数	約624人
来場対象者	小学生からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内方法	作品を出品してもらっている小学校に文書で案内した
記念品	出品してくれた児童に出した

2. 教育、スポーツ、文化活動事業

教育、スポーツ、文化活動事業とは、教育、スポーツ、文化活動を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業である。

(1) 教育関係事業

教育関係事業とは、教育機関の教育環境の向上・充実及び指導者の技量の向上、研究を助成する。また、当財団が主催する文化的教室などを通して、市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を育成する。

①教育研究の助成事業

教育研究の助成とは、舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、海上保安学校などにおいて、幼少期から青年期までの心身の発達と教育効果の高揚を期するため、教育関係の個人及び団体に対し、一層の研究の推進を図る。

- ・助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、令和4年4月25日（月）から令和4年5月23日（月）まで公募
各小中学校に資料を配布した
- ・選定委員会 令和4年7月8日（金）
理事長・山内哲夫理事・佐藤裕之理事
舞鶴市の小学校・中学校・教育研究会などより6団体応募があり、6団体が助成内定した
- ・助成金額 1研究につき、30万円以下とする

・助成先と研究主題

舞鶴市立若浦中学校

研究主題： 自らの学びを創造できる生徒の育成
～総合的な学習の時間を真ん中に～

助成内容： 講師謝礼、ホワイトボード購入費

舞鶴市立和田中学校

研究主題： 学び手を育てるための主体的な学びの創造
～互恵的な学びのある授業づくりを通して～

助成内容： 講師謝礼、交通費、書籍購入

学校支援ネットワーク「なかすじ」

研究主題： ロボット研究室 ～世界大会を目指して～

助成内容： ロボット研究室運営費

舞鶴市中学校教育研究会英語部

研究主題： 京都府版 Can-do リストでみとる中学1年生への指導にかかわって

助成内容： 招聘予定の講師と都合が合わず、助成辞退

舞鶴市立中舞鶴小学校

研究主題： 「夢を志へ」学び手としての児童生徒の育成

助成内容： 研修会参加費、児童活動費、研究図書費

舞鶴市立倉梯小学校

研究主題： 主体的な学び手としての児童の育成

助成内容： クリアファイル作成、学力テスト受験費用

②文化・体育教室の開催

文化・体育教室として、幼児・児童の心身の健全な発達に寄与し、人間性を育成する事を目的とし、「おもちゃツアー」を開催する。積み木・木のおもちゃを通して、幼児・児童の豊かな心を育むと共に、指導者の発想の転換を図る。

例年通りであれば冬頃に第6回おもちゃツアーを実施する予定であったが、新型コロナウイルスへの対策として中止をした。次年度の開催を目指す。

(2) 文化教育団体等への助成事業

文化教育団体等への助成事業とは、文化、教育、スポーツ活動を行う団体への助成活動を通じて、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

① 社会文化団体など助成

社会文化団体などへの助成とは、一般社会において、法人・団体・組合などで組織活動を行う場合は、組織の範囲内で活動・運営することが当然であるが、新規事業を行う場合等に、資金不足に陥る事がある。そこで、外部からの援助を行う事により、活動が広がり社会貢献に繋がっていく。

・助成先の募集方法

HP上で基準公開の上、令和4年4月25日(月)から令和4年5月16日(月)まで公募した

・助成金額

一件あたり20万円以下とする

・審査 令和4年6月8日(水)みなし理事会にて

・助成先と事業内容

舞鶴みなとライオンズクラブ

舞鶴こども発明クラブ

贈呈式 令和5年3月29日(水)

助成 舞鶴こども発明クラブ事業費

出席者 舞鶴みなとライオンズクラブ

(公財)舞鶴文化教育財団 理事、評議員、スタッフ

生涯教育研究グループ

生涯教育(社会教育を含む)についての実際的な研究、生涯教育に資するための方策や教材教具等の研究

贈呈式 令和4年12月5日(月)

助成 材料費、研修費等

出席者 生涯教育研究グループ 会長

(公財)舞鶴文化教育財団 理事、スタッフ

田邊家中之会

明倫館歴史教室2022

贈呈式 令和4年12月6日(火)

助成 明倫館歴史教室事業費

出席者 田邊家中之会 事務局

(公財)舞鶴文化教育財団 理事、スタッフ

※新型コロナウイルス対策のために明倫館歴史教室を欠席する

開催日 令和4年10月22日(土)

場所 舞鶴市西公民館

縄文ものづくりフォーラム

縄文時代の生活や娯楽、祈り等についての研究、生活と道具についての実験

考古学的研究、工芸技術についての研究

贈呈式 令和4年12月5日（月）

助成 材料費、研修費等

出席者 縄文ものづくりフォーラム 会長、庶務会計
(公財)舞鶴文化教育財団 理事、スタッフ

②教育機関への助成事業

海上保安学校助成

海上保安学校助成とは、日本でただ一つの海上保安学校は舞鶴の誇りであり、海国日本の海上交通安全や、海上警備のために、大きな役割を果たす海上保安官を養成している。この重要任務を担われている海上保安学校に対して、地元から声援を送りたいと、不足している図書・教材・楽器の教育備品拡充などの支援を行なってきた。今年度は昨年度に引き続き、教育備品の拡充及び教育環境の整備・充実を支援した。

<学生音楽隊演奏技術指導料支援>

4月から3月まで計13回の指導料支援

<贈呈式>

日時 令和5年5月22日（月）

場所 海上保安学校 講堂

出席者 全教職員、学生

(公財)舞鶴文化教育財団 理事、評議員、スタッフ

目録

フルート	二本
楽器調整	一式
書籍・DVDソフト	一式
救命胴衣	二十三着
警杖	三十本
ソフト警杖	三十本

学校法人聖ヨゼフ学園 日星高等学校助成

舞鶴市内にある唯一の私立の高等学校であり、第二次世界大戦後の混迷期から、一貫して女子生徒の情操や道德面の教育に力点をおき、大きな成果を上げて来られた。更に男女共学になり、高等看護専門コースも併設され、広範な教育推進に専念されている。これまでも、図書やベッドなどの備品拡充に協力してきた。令和元年度には学習支援センターに必要な機器について助成を実施した。

今年度は、音楽関係助成の中で助成を実施した。

③音楽関係助成

音楽関係助成とは、音楽活動を通じて、舞鶴市民の心身の健全な発達に寄与し、豊かな人間性を涵養することを目的とし、音楽活動を行なう団体及び舞鶴市に設立されている幼稚園、小学校、中学校、高等学校、国立高等専門学校、ポリテクカレッジなどのクラブ活動に助成するものである。

・審査

令和4年6月8日（水）のみなし理事会

幼稚園1園、中学校5校、高等学校2校、団体1つの申請があり、理事会で審査され決定した

・助成先の募集方法 HP上で基準公開の上、令和4年4月25日(月)から令和4年5月16日(月)まで

・助成金額 1事業50万円以下とする

・助成先及び助成の内容

舞鶴市立若浦中学校 「箏 1面」

贈呈式 令和4年12月21日(水)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 若浦中学校教頭、顧問

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

吹奏楽団ブルーマリNZ 「銅鑼 1面」

贈呈式 令和4年12月23日(金)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 ブルーマリNZ団長

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

京都府立西舞鶴高等学校 「チューバ 1本」

贈呈式 令和4年12月21日(水)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 西舞鶴高等学校副校長、顧問

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

舞鶴市立城南中学校

助成金額通知の電話後、楽器変更の連絡がなかったため助成無し。

舞鶴市立青葉中学校 輝け青葉デー 輝響祭「会場費等」

贈呈式 令和4年12月26日(月)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 青葉中学校校長、教諭

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

聖ヨゼフ学園日星高等学校 「テナーサクソ 1本」

贈呈式 令和4年12月26日(月)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 日星高等学校校長、顧問

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

舞鶴市立白糸中学校 「ピッコロ 1本」

贈呈式 令和4年12月23日(金)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 白糸中学校校長、教諭

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

舞鶴市立城北中学校 「バスクラリネット 1本」

贈呈式 令和4年12月26日(月)

場所 (公財)舞鶴文化教育財団

出席者 城北中学校教頭、顧問

(公財)舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

幼保連携型認定こども園タンポポこども園 「防滴形ワイヤレスアンブ」

「Bluetooth ユニット」

贈呈式 令和4年12月19日（月）
場所 （公財）舞鶴文化教育財団
出席者 タンポポこども園園長
（公財）舞鶴文化教育財団理事、スタッフ

(3) スポーツ活動事業

スポーツ活動事業とは、市民の心身の健全な発達に寄与し、又は人間性を涵養することを目的とする事業である。

①体育振興事業

体育振興事業とは、身体を動かすことによって、市民の心身の健全な発達に寄与する。

＜健康体操教室の開催＞

指導員 財団スタッフ2～3名
(内1～2名は公益財団法人日本スポーツクラブ協会の「中高老年期運動指導士」資格を持つ)
開催日 毎月6回(各施設で月1回)実施予定だが、新型コロナウイルス対策のため休止が多く、今年度は安岡園のみ実施した。
場所 特別養護老人ホーム安寿苑とデイサービス(全0回)
特別養護老人ホームグリーンプラザ博愛苑とケアハウス(全0回)
養護老人ホーム安岡園(全4回)
障害者支援施設こひつじの苑舞鶴(全0回)
参加人数 各教室で約10人から15人

3. 文化財保護事業

文化財保護事業とは、舞鶴市に係わる文化財の保護事業を通して、文化の発展に寄与する。

①神崎ホフマン窯保存活用事業

現在、ホフマン窯は日本に4箇所残っているだけである。神崎ホフマン窯は国の登録文化財であり、平成19年に、「建造物の近代化に貢献した赤煉瓦生産の歩みを物語る近代化産業遺産」として認定され、平成23年10月には管理団体として指定を受けた。また、平成28年には「日本遺産」の指定を受けた。

・ホフマン窯見学

4月13日(水)	大阪市より個人	2名
5月2日(月)	舞鶴市立由良川小学校	55名
	徳島県より個人	1名
6月13日(月)	舞鶴市立由良川小学校	6名
6月14日(火)	舞鶴市赤れんが博物館	3名
6月22日(水)	KYOTO SIDE	2名
10月8日(土)	加佐公民館	15名
10月21日(金)	京丹後市シルバー人材センター歩こう会	19名
10月23日(土)	鹿児島県鹿児島市より個人	1名
11月9日(水)	舞鶴市立城北中学校	5名
11月13日(日)	翔の会	5名

- 1 1月19日（土） 神奈川県横浜市より個人 5名
- 3月11日（土） 京都市内などから個人 3名
- ・冊子「若狭湾国定公園内 神崎煉瓦ホフマン式輪窯」「神崎煉瓦ホフマン式輪窯」の販売
- ・財団スタッフの一人が常駐し、ホフマン窯周辺の清掃・管理などを行なっている
- ・ホフマン窯見学の際には、財団スタッフが現地にて説明を行う

②史跡表示石柱

平成3年度から平成4年度に郷土舞鶴を見直し、文化財の保護に寄与し散策に役立つために石柱を設置した。今年度は舞鶴市内の史跡表示石柱を回り、清掃・管理を行った。舞鶴市内の文化財を知ってもらい、理解を深めて欲しい。

- ・石柱や周辺の清掃、管理

4. 国際交流事業

国際交流事業とは、外国の風土や文化を理解することにより、国際感覚を養い、外国人・留学生など、地域で生活している人が増えている現状の中で、外国人と市民が直接、交流できる場を提供する。

(1) 国際交流事業の助成

この事業は、京都府民に係る非営利を目的とする団体等が実施する イ)青少年児童交流促進に関する事業 ロ)文化交流事業 ハ)留学生等外国人府民支援事業 ニ)海外に対する協力事業 ホ)その他市民レベルの国際交流事業で助成の効果が期待できる事業などの各種交流事業に助成することで、舞鶴市民の国際交流活動を活性化させ、市民レベルの国際交流活動を育成・奨励するために行なわれる。また当該団体等が助成対象事業を確実に遂行できる見込みがあることを要する。

- ・助成先の募集
HP上で基準公開の上、公募した
令和4年4月25日（月）から令和4年5月16日（月）まで
- ・助成金額
今年度は1事業60万円以下とし、施設費、備品購入費は1事業120万円以下とする
- ・助成先と事業内容
今年度の申請者はいなかったため、助成を行っていない。

(3) 国際交流児童画展の開催

国際交流児童画展では、言葉では表せないものが絵には自然と表れるので、絵を描いたり見ることによって、自分の町を知り、また他国との違い・共通点を見つけて視野を広げて欲しい。

<第12回国際交流児童画展>

開催日	令和5年3月18日（土）～3月19日（日）
開催場所	「らぼーる」1階 セントラルコート
出品作品数	海外の子供達の絵（中国、ドイツ、韓国、インド フィリピン、ネパール） 46点 池内幼稚園の絵（年中） 45点
絵画の集め方	当財団にある外国の子供達の絵から未展示の絵を選ん

	だ
来場者数	舞鶴市内の幼稚園の絵を借りた 約1600人
来場対象者	幼児からお年寄りまで
参加料	無料
開催案内	出展依頼をした幼稚園にミニチラシの案内を出した
記念品	出品してくれた園児に出した